

## ① 植栽整備、景観の向上について

本町は住宅の町として、整然とした街並みであると評価する声を拝聴しています。しかし、所により公共が管理する植栽、樹木の枝葉が生い茂り、景観を損ねている状況を目にします。かといって枝葉を強く剪定すると、次の剪定までの期間を長くとることができるものの、これもまた樹形を崩し景を損ねますので、適切な管理が必要です。

適切な剪定がされず枝が混み合ったままにすると、美観を損ねるだけでなく、樹木の中心部に枯れ枝、枯葉が堆積し、湿気が抜けず病害虫の温床となります。適切な剪定により、樹木の内部にまで日光を当てることによって、健康に生育することができるとされています。

議会の視察で他の市や町を訪問した際、街路樹や公共施設の植栽が、よく手入れされている状態を目にすると、美観に対する自治体の姿勢を感じ、良い印象を持ちます。本町の魅力度をさらに高めるため、植栽、樹木の整備、美観の向上に務めることを願い、以下を質問します。

- (1) 長与川沿いの歩道に設置しているプランターに植栽がされていない（令和 3 年 8 月末）状況ですが、何か理由があるのでしょうか。特に三彩橋は雑草が繁茂している様が見受けられます。時津町方面からの町の玄関口という意味でも、美観を向上させる工夫が必要ではないでしょうか。
- (2) 街路樹としてナンキンハゼやイチョウなどが植樹されていますが、胴吹きや、ひこばえが伸長したままの状態になっているものが目につきます。その樹木本来の樹形を維持し景観の向上させることと、歩行者の安全を考慮する観点からも、これらの点検と対処をしてはどうかと思いたしますがいかがでしょうか。
- (3) 岡岬町営住宅の植栽（ツゲ、ツツジなど）も、長期間剪定、整備がされていないようで荒れています。早期に対処する考えはないか伺います。
- (4) 本年 6 月、長崎市の緑地にチャドクガの幼虫（毛虫）が大量発生し新聞記事にもなりました。チャドクガは主にツバキやサザンカの葉に発生し、毒針毛に触れると強い皮膚炎をひき起こします。本町が管理する植栽にこれらの樹種はあるでしょうか。
- (5) 樹種の特長や花の時期などを考慮した植栽管理の具体的な計画は策定しているでしょうか。なければ計画を策定すべきだと思いたすが見解を伺います。